

## Ⅵ 日本語教師養成講座について

- 1 文学部では、国内外で日本語を教える専門能力を持つ人材を育成する目的で、日本語教師養成講座を設けています。
- 2 日本語教師養成講座を修了するためには、次の表のとおり28単位以上を修得しなければなりません。
- 3 日本語教師養成講座修了者(修了見込者)には、文学部の発行する成績証明書に、同講座を修了したこと(修了見込であること)を明記します。また、卒業時に日本語教師養成講座修了証を授与します。
- 4 「日本語教育実習」を履修するためには、次の(1)(2)をともに満たしていなければなりません。
  - (1) 以下の科目を修得済みであること。「日本語教育実習」と同時に履修することはできません)  
以下の3科目6単位  
「国語学概論 a」、「日本語教育概論」、「日本語教授法」  
以下の科目から1科目2単位  
「言語学研究」「日本語学Ⅰ a」「日本語学Ⅰ b」「日本語学Ⅱ a」「日本語学Ⅱ b」から1科目2単位以上
  - (2) 以下の科目のいずれかを修得済みであること、もしくは「日本語教育実習」と同時に履修すること。  
「日本語教育方法論」「日本語教育授業分析」

領域	区分	必要単位数	科目名	必修	配当年次	単位	備考			
1. 社会・文化・地域に関わる領域	1) 社会・文化・地域	必修2単位を含む 4単位以上	総合人文基礎講義(各テーマ)		1~4	2				
			専修横断講義(各テーマ)		1~4	2				
	2) 言語と社会		専修横断演習(各テーマ)		2~4	1				
			日本語教育概論	☆	2	2	★			
2. 教育に関わる領域	3) 言語と心理	4単位以上	教育と文化の社会学		2	2				
			教育人類学		2	2				
			子どもの発達多様性		2	2				
			人間発達と教育の心理学		2	2				
			第二言語習得論		3	2				
			教育心理学		2	2				
	4) 言語と教育	必修8単位を含む 10単位以上	日本語表現論 a		2	2				
			日本語表現論 b		2	2				
			日本語教授法	☆	2	2	★			
			日本語教育方法論	☆	3	2	■			
			日本語教育授業分析	☆	3	2	■			
			日本語教育実習	☆	3	2				
			英語科教育法(一)		2	2				
			英語科教育法(二)		2	2				
			英語科教育法(三)		3	2				
			英語科教育法(四)		3	2				
			ドイツ語科教育法(一)		3	2				
			ドイツ語科教育法(二)		3	2				
			ドイツ語科教育法(三)		3	2				
			ドイツ語科教育法(四)		3	2				
			フランス語科教育法(一)		3	2				
			フランス語科教育法(二)		3	2				
			フランス語科教育法(三)		3	2				
			フランス語科教育法(四)		3	2				
			中国語科教育法(一)		3	2				
			中国語科教育法(二)		3	2				
			中国語科教育法(三)		3	2				
			中国語科教育法(四)		3	2				
					2単位以上	ICTベーシックス		1	2	
						情報社会と研究倫理		2	2	
メディア教育論		2				2				
情報メディアの活用		2				2				
3. 言語に関わる領域	5) 言語	必修4単位を含む 8単位以上	言語学研究	☆	1	2	◇			
			国語学概論 a	☆	1・2	2	★			
			国語学概論 b		1・2	2				
			日本語学 I a		2	2	◇			
			日本語学 I b		2	2	◇			
			日本語学 II a		2	2	◇			
			日本語学 II b		2	2	◇			

(備考) 日本語教育実習を履修するには以下(1)(2)をとともに満たしていなければなりません。

- (1) 日本語教育実習を履修する学期までに「★印=全て修得」かつ「◇印=該当科目から1科目2単位以上修得」すること(日本語教育実習と同時に履修はできません)
- (2) 「■印=いずれかの科目を修得済みしくは日本語教育実習と同時に履修」すること。